

三中校長だより 保護者地域の皆さんへ
令和4年度 第7号 R4.7.20 (水)



藤井寺市立第三中学校
校長 奥 雅 美

「1学期の行事を振り返って」

いよいよ夏休みが始まります。今年度は全員体育館に揃って1学期の始業式をすることができ、毎月の全校集会も生徒会中心に対面で実施することができました。6月に実施された3年生の修学旅行は、彼らにとって中学校初めての宿泊行事でした。姫路セントラルパーク、鳥取の砂丘や湖でアクティビティー、夜はレクリエーションで盛り上がり、去年の体育大会のスローガンに「青春をとりもどせ」というフレーズがあったのですが、まさにそれを思わせる充実した内容でした。帰ってきた翌日、2年生に感想を求められた3年生が「マジ2泊ハンパない」とちょっと自慢げに話している様子が可愛かったです。また、1年生の宿泊学習は近江八幡でクラス一丸となった「いかだ」体験や盛り上がったキャンプファイヤー、飯ごう炊さんの体験をしてきました。2年生は校内でミニ運動会を実施し、玉入れや大縄跳びでクラスの絆を深めていました。支援学級は3年ぶりに市内3中学校の「夏のつどい」を実施しました。クイズやダンス、特技を披露したりして他中学校と交流することができました、生徒会行事は恒例になった三中カーニバルです。距離を取って棒相撲で連日昼休みに熱い戦いがくりひろげられました。体育大会のカラー抽選も無事対面で行うことができました。

1学期は何よりも「今しかできない貴重な経験や体験をできた」ことが嬉しいというのが一番の想いです。明日から待ちに待った夏休み、健康に十分留意し、みんな元気に2学期を迎えてほしいと思います。

「成長」

人は経験や体験により、内面的に成長していきます。本を読んだり、スポーツをしたり、芸術活動をしたり、人と話したり、一緒に過ごしたり、ありとあらゆるものを吸収して、その中から自分に合うものを選んで、少しずつ変化していきます。以前「旬」のお話をしましたが、中学生時代は「自分とは何か」を考え始める時期です。この時期に今の「自分とは違った様々な考え」に触れることが、その後の「自分らしさ」に大きな影響を与えます。もちろんこれは大人になっても同様ですが、大人になってから自分を変えていくには相当なエネルギーがいるのです。それを知っている我々だからこそ、中学生に未知のものに出会う経験をさせてやりたいと思うのです。図書館で本を借りて読むのも一つでしょう。夏休みの貴重な時間をどういう風に使うのか、考えてみてはどうでしょうか。

「先生の学び合い」

今、本校の授業は「学び合い」をテーマに改善を図っています。教員たちは現代の子どもたちが興味を持ち、自分から学びを深めていくためにどんな工夫が必要なのかをいつも考えています。勿論これまでも先生たちは熱心に本を読んだり、研究したり、研修や情報共有の会議に出かけたりして学んでいました。しかし、最近その様子が変わってきたように感じます。教員が学んだり、新しく実践してみたり、他校の取り組みを見に行ったりしたことを、他の教員に伝達することが増えてきているようです。それだけではありません。日頃気づきにくい何気ない校内の一コマもみんなまで共有し、またそれに返信する機会が多くなりました。このような発信のおかげで我々は互いに理解し、学び合っています。私も日々刺激を受け、成長しているところです。